

(公社)富山県高等学校安全振興会

会報

第10号(令和3年12月17日)

〈発行者〉

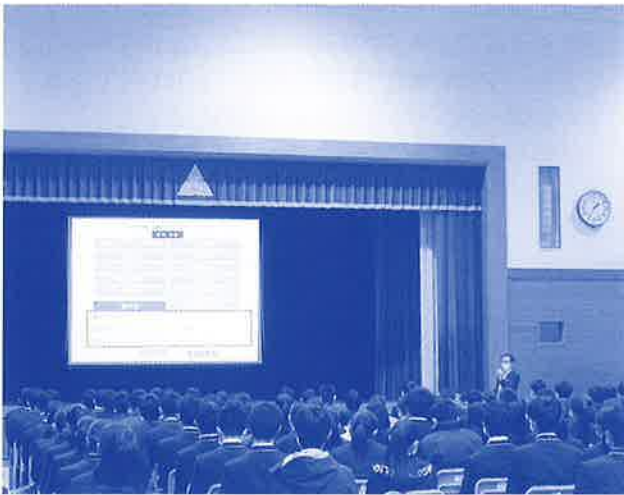
公益社団法人 富山県高等学校安全振興会

〒930-0018 富山市千歳町1-5-1

富山県教育記念館

TEL 076-432-2810

FAX 076-432-1501



「PTA保健教育事業」
(入善高等学校)



「体験教育講習会」
(富山高等学校)

ご挨拶

公益社団法人 富山県高等学校安全振興会

理事長 堀井 鉄也



日ごろより、富山県高等学校安全振興会が実施する本県高等学校及び特別支援学校の児童生徒等の安全に関する事業にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

本会は、平成4年に発足し、その後法律の改正に伴い組織を改変し、平成26年に公益社団法人に移行いたしました。児童生徒の災害に関する共済金給付事業や安全教育の普及充実事業を行っております。

昨年度の給付事業では、411件 10,190,302円の給付を実施いたしました。一昨年と比べて件数で100件、給付額で約6,770,000円少なくなっています。これは、新型コロナウイルス感染症対策の

ため臨時休業が実施されたことによるものと考えられますが、部活動中のけがや事故が多かったことに変わりはありません。今後も、生徒の安全・健康及び健全育成に係る助成事業と広報活動を行い、事故の未然防止に一層留意する必要性を感じています。

また、安全普及事業として、昨年7月にAED 65台を更新いたしました。今年度は、各校に使い捨てパッドを配付しました。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業が縮小していることから、各校に「熱中症指数モニター」と「熱中症応急キット」を寄贈しました。

これからも会員の皆様のお役に立てる会としてご期待に添えるよう、役員一同努めて参りますので、相変わらずのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年度定時社員総会について

令和3年度定時社員総会は、6月3日に開催する予定でしたが、コロナ禍のため、昨年度と同様、書面での審議とさせていただきます。その結果、社員66名全員の同意の意思表示を得ましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条1項及び同法の第59条の規定に基づき、理事長提案を可決する旨の社員総会の決議及び社員総会への報告があったものとみなされました。社員の皆様には、期日までに同意書を提出いただき、ありがとうございました。

これにより、令和2年度決算（貸借対照表・正味財産増減計算書）、任期満了に伴う後任理事・監事の選任について、提案どおり承認されました。これを受けて、6月23日に第3回理事会が行われ、代表理事（理事長）に堀井鉄也理事が再任されました。

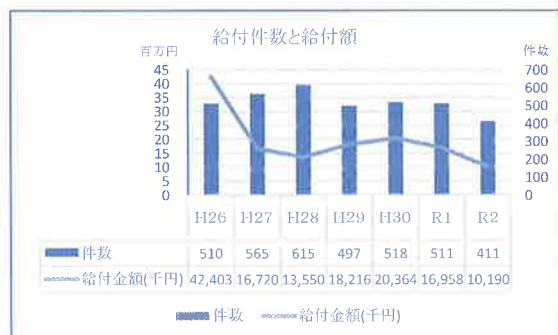
また、10月には鮎田理事の辞任に伴い、後任に松本理事が選任されました。

来年度の定時社員総会は、令和4年6月2日に、富山電気ビルディングで開催する予定です。

共済金の給付について

安全振興会では、独立行政法人日本スポーツ振興センターが災害共済給付を行った場合、死亡共済金、負傷共済金、後遺障害共済金等を支払っております。その中の負傷共済金は、学校管理下における活動中の傷害により、通院または入院した場合に補償し、日本スポーツ振興センターの災害給付金が2万円以上（同一傷害）のものについて、その30%をお支払いしております。該当する場合には、学校を通じて当会にご請求下さい。

平成26年度からの給付件数と給付額は下記のグラフのとおりです。



熱中症指数モニターと熱中症応急キットを寄贈

近年、学校の管理下における熱中症は、小・中・高を合わせると全国で毎年5,000件程度発生しています。また熱中症による死亡事故も、年間に0～2名程度と減少傾向にありますが、熱中症に関する正しい知識・対策で重症化を減らしていく必要があります。今年度には、環境省と文部科学省が共同で「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」を作成したこともあり、安全振興会では暑さ指数（WBGT）を測定する装置と応急キットを各校に寄贈しました。

指数モニターを活用いただき、熱中症予防に役立てていただければと思います。



(熱中症指数モニター)

(応急キット)

令和2年度共済金給付事業について

令和2年度の共済金給付（新規）の概要（負傷共済金）は以下のとおりでした。

- 1 学年別**
1年 (41.3%) 2年 (42.7%) 3年 (16.0%)
- 2 場面別**
授業中 (14.9%) 部活動中 (含試合) (75.4%)
通学中 (3.9%) その他 (5.7%)
部活動での負傷が多く、うち骨折が77件ありました。
- 3 競技種目別**
バスケットボール (22.2%) サッカー (18.8%)
野球 (13.8%) バレーボール (7.7%)
競技種目別の負傷上位は上記の4競技で、これは令和元年度とまた全国の傾向と同じです。
- 4 負傷部位別**
膝 (23.5%) 指 (14.9%) 足関節 (12.5%)
負傷部位は令和元年度と同じく膝が多く、治療までに長期間を要しています。

助成事業報告

南砺福野高等学校 性に関する講演会 ～性をめぐる様々な問題～

南砺福野高校では、毎年1年生を対象として性に関する講演会を開催している。昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策で臨時休校の措置がとられ、学校行事の変更が相次ぎ、実施を見送った。今年度は、会場を体育館とし、生徒間の間隔をとって開催した。

この講演は、専門医から話を聞くことにより、思春期におこる体の変化やかけがえない命の尊さについて学ぶと共に、生涯にわたる健康なライフスタイルを描くことを目的としている。

1 取り組み内容

6月24日(木)、女性クリニックWe! TOYAMA 院長 若杉 聡美先生をお招きし、「性をめぐる様々な問題」と題して、講演会を行った。



導入で、デートDV、レイプ、痴漢、性虐待、望まない妊娠、性感染症等、性をめぐる問題は様々である。女性には望んだ時に妊娠できる体でいてほしいこと、そして男女ともに体や心を守るためには、性的欲求を自分でコントロールすること、「NO!」と言えることが大切であると話された。

その後、「望まない妊娠」「性感染症」を中心に話は進み、子宮頸がん予防ワクチンについての説明もあった。性感染症は気づかないうちに相手にうつす可能性が高いことを、現在流行している新型コロナウイルス感染症を例にあげ、「コンドームなしで性交することはコロナ禍にマスクをつけずに人混みに入って話をするようなもの」と説明され、とても理解しやすかったようである。

講演の終わりに、生徒から「双子が生まれる確率はどれくらいですか」という質問があり、「自然妊娠だと、1/80くらいです。」の答えに、会場が和んだ。



2 生徒の感想

- ・一人一人が自分の行動に責任をもつことで、幸せで豊かな人生を歩むことができると感じた。
- ・無症状で人に感染させてしまうことがあるということが印象に残った。
- ・性感染症は、怖いと感じたが、正しい知識を身につけて対策をすることで、決して恐れるものではないということが分かった。
- ・今まで性に関して詳しく考える機会がなかったが、今回の講演を聴いて自分の性ときちんと向き合おうと思った。
- ・望まない妊娠や性感染症を防ぐためにも、自分の意見をはっきりと言ったり、自分のことをしっかりと理解したりしたいと思った。
- ・自分の体を大事にしたいと思った。生理痛が重いのでかかりつけの産婦人科をつくりたい。
- ・私は子宮頸がんのワクチン接種を受けていないので、家で相談してみようと思った。
- ・何かあったら、一人で悩まないで人に相談することが大事だと思った。

3 実施を通して

講演後の生徒の感想に、性に関する講演は中学校でも聞いたことがあるが、「それに加えて知ったことがあった」「中学校の時より内容が身近なことに感じた」というものが多かった。成長に合わせて、講演で得た知識の理解を深めたり、より自分の将来像を描けるようになっていく。この時期に講演を聞くことによって、自分の体を大切にすると共に、相手を思いやる心や態度をより一層育んでほしい。

令和2年度事業・収支決算報告

《事業》

- 1 社員総会 定時総会（書面）：令和2年6月4日
- 2 会議 理事会 4回開催
令和2年5月8日、5月25日、6月10日、令和3年1月21日
- 3 調査研究事業 第10回全国高等学校安全互助会連絡協議会総会及び研究大会山梨大会参加（令和2年10月1日・2日）
P T A等共済法事務担当者会議等への参加（令和2年度は開催なし）
- 4 安全普及事業 (1)機器の整備 A E D（65台）の更新（令和2年7月）
(2)広報事業 安全振興会会報・手引書の発行及び加入案内の配布、ホームページの随時更新
- 5 助成事業 生徒の安全・健康及び健全育成等に関わる実践活動への助成
- 6 給付事業 共済金支払件数411件（負傷：411件、後遺障害・義歯：0件）
- 7 香料給付事業 2件

【収支決算】 1 収入の部

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	27,521,648	275,433	4,000,082	31,797,163
基本財産運用収入	0	0	0	0
特定資産運用収入	7,923	0	26	7,949
受入共済掛金	27,513,159	0	0	27,513,159
受入香料掛金	0	275,430	0	275,430
雑収入	566	3	4,000,056	4,000,625
投資活動	6,828,250	0	0	6,828,250
基本財産取崩	0	0	0	0
特定資産取崩	6,828,250	0	0	6,828,250
支払備金取崩	0	0	0	0
前期繰越収支差額	11,567,919	328,258	11,017,691	22,913,868
計	45,917,817	603,691	15,017,773	61,539,281

2 支出の部

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	31,368,632	127,168	4,758,890	36,254,690
事業費	31,368,632	127,168	0	31,495,800
管理費	0	0	4,758,890	4,758,890
繰入金	0	0	0	0
投資活動	7,184,338	0	0	7,184,338
基本財産取得	0	0	0	0
特定資産取得	7,184,338	0	0	7,184,338
固定資産取得	0	0	0	0
支払備金積立	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0
次期繰越収支差額	7,364,847	476,523	10,258,883	18,100,253
計	45,917,817	603,691	15,017,773	61,539,281

令和3年度事業・収支予算計画

《事業》

- 1 社員総会 定時総会（書面）：令和3年6月3日
- 2 会議 理事会 4回開催
令和3年5月7日、5月24日、6月23日、令和4年1月25日
- 3 調査研究事業 第11回全国高等学校安全互助会連絡協議会総会及び研究大会新潟大会参加
（令和3年10月7日・8日）
P T A等共済法事務担当者会議等への参加
- 4 安全普及事業 (1)機器の整備 A E D使い捨てパッドの配付（令和3年8月）
(2)広報事業 安全振興会会報・手引書の発行及び加入案内の配布、ホームページの随時更新
- 5 助成事業 生徒の安全・健康及び健全育成等に関わる実践活動への助成
熱中症指数モニター、熱中症対策応急キットを加盟校に寄贈
- 6 給付事業 共済金給付

【収支予算】 1 収入の部

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	26,398,545	263,360	4,000,020	30,661,925
基本財産運用収入	0	0	0	0
特定資産運用収入	30,000	0	0	30,000
受入共済掛金	26,368,345	0	0	26,368,345
受入香料掛金	0	263,360	0	263,360
雑収入	200	0	4,000,020	4,000,220
繰入金	0	0	0	0
投資活動	25,000,000	0	0	25,000,000
基本財産取崩	0	0	0	0
特定資産取崩	10,000,000	0	0	10,000,000
支払備金取崩	15,000,000	0	0	15,000,000
前期繰越収支差額	7,364,847	476,523	10,258,883	18,100,253
計	58,763,392	739,883	14,258,903	73,762,178

2 支出の部

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	34,848,749	284,251	6,148,000	41,281,000
事業費	34,848,749	284,251	0	35,133,000
管理費	0	0	6,148,000	6,148,000
繰入金	0	0	0	0
投資活動	18,000,000	0	0	18,000,000
基本財産取得	0	0	0	0
特定資産取得	3,000,000	0	0	3,000,000
固定資産取得	0	0	0	0
支払備金積立	15,000,000	0	0	15,000,000
予備費	100,000	0	0	100,000
次期繰越収支差額	5,814,643	455,632	8,110,903	14,381,178
計	58,763,392	739,883	14,258,903	73,762,178

《役員》

令和3年・4年度理事・監事（令和3年10月4日以降）

- 理事（9名）
堀井 鉄也（理事長） 神田 聡（常務理事）
本江 孝一 松本 浩二 松倉 良知 小林 大助
中村総一郎 今井 宏 森川 明
- 監事（2名）
光田 孝史 早助 昭

令和3年・4年度審査委員会委員（9名）

- 三浦 美緒 山口 洋祐 南部 歩美 中崎 健志
金田 秀樹 篁 美佳 立浪 真美 吉田 学
荒木 義雄

編集後記

今年度もコロナ禍により、定時社員総会が書面審議となりました。この会報などをとおして当会の活動状況を少しでもお伝えしたいと思っております。社員総会が通常通り開催できるよう、コロナの収束を願うばかりです。

今後とも県内の高等学校、特別支援学校で学ぶ子どもたちの健康・安全に努めてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

（常務理事・事務局長 神田 聡）